

歯科材料

講師	阿部 薫 明	実施時期 単 位 数	第 1 学年後期 1 単位 (20 時間)	実務経験	—
一般目標 (GIO)	歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・成形修復材の種類と基本的性質を説明できる。 ・コンポジットレジンの特徴を説明できる。 ・成形修復材の歯質との接着を説明できる。 				
学習方法	講義、DVD視聴、示説、宿題(テーマ別問題)				
成績評価の方法	定期試験結果に授業態度(積極的に授業に参加すること)を加味する。 筆記試験80%、小テスト、出席状況20%				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修 最新歯科衛生士教本「歯科材料」 医歯薬出版				
履修上の注意	毎回、授業内容を復習することを心がけること。 初めて聞く専門用語が多いので、徐々に慣れていく必要がある。				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木一臣他「スタンダード歯科理工学」 学建書院 ・山根正次監修「歯科材料学事典」 学建書院 				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1	歯科材料の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・金属材料、高分子材料、セラミック材料の特徴を説明できる。 ・生体材料の基本的性質を説明できる。 ・歯科材料の素材や所要性質を説明できる。
2	印象材①	<ul style="list-style-type: none"> ・印象採得の目的を説明できる。 ・印象材の種類と基本的性質を説明できる。
3	印象材②	<ul style="list-style-type: none"> ・弾性印象材の所要性質を説明できる。 ・印象材の変形を説明できる。
4	模型用材料①	<ul style="list-style-type: none"> ・模型用材料の種類と基本的性質を説明できる。
5	模型用材料②	<ul style="list-style-type: none"> ・石膏の所要性質と取り扱いを説明できる。 ・石膏の理工学的性質を説明できる。
6	成形修復材	<ul style="list-style-type: none"> ・成形修復材の種類と基本的性質を説明できる。 ・コンポジットレジンの特徴を説明できる。 ・成形修復材の歯質との接着を説明できる。
7	合着材と接着材①	<ul style="list-style-type: none"> ・合着材と接着材の種類と基本的性質を説明できる。 ・歯科用セメントの所要性質を説明できる。
8	合着材と接着材②、ワックス	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科用セメントの理工学的性質を説明できる。 ・ワックスの種類と用途を説明できる。
9	金属材料、セラミック材料、技工技術(鋳造、重合、焼成、ろう付け、	<ul style="list-style-type: none"> ・金属材料とセラミック材料の種類と基本的性質を説明できる。 ・歯科技工技術の種類とその目的を説明できる。
10	暫間修復材と仮着セメント	<ul style="list-style-type: none"> ・暫間修復材と仮着セメントの種類と基本的性質を説明できる。